

テキスト表現 (1)

2009.6.16

マニュアルライティング (2009 年度)

本日の内容

- レポートフィードバック
- わかりやすく表現する

連絡事項

- 第 3 回レポート課題提示は次週に延期
- 現状成績の傾向（危険ラインのアナウンス）

レポートフィードバック (1/13)

課題要件の復習

- CD 講義科目（45 科目）をグルーピングする
<http://www.senshu-u.ac.jp/School/network/introduction/cd.html>
- 複数グループへの重複可、グループ数制約なし
- 「必修」「選択必修」などのグループではなく、講義の内容を意識してグルーピングする
- 「学外ユーザー」に説明する場面を意識する

レポートフィードバック (2/13)

前提条件の欠如

- 「対象ユーザーは誰か」「対象ユーザーの求める情報は何か」など、最低限の前提を明確にする
- 「学外ユーザー＝受験生」とは限らない

レポートフィードバック (3/13)

想定ユーザーの誤り

- 課題要件を良く読むこと
- 「科目ごとの成績評価方法」を学外ユーザーは求めている

レポートフィードバック (4/13)

分類基準の誤り

- 学外ユーザーのメンタルモデルは？
- 「CD 講義科目のグルーピング」に CD/NS/IS 分類は不適切
- 「講義／実習」の枠組に拘りすぎ

レポートフィードバック (5/13)

グループ数／グループ内要素数の問題

- グループ数が少なすぎる／多すぎる
- 第 2 階層を設けるなどして、1 グループに含まれる要素数を減らす
- 要素数が極端に多いグループが成立してしまう場合は、そもそもグルーピングの基準が適切であったのかどうか再確認する

レポートフィードバック (6/13)

ラベルの問題

- 「タイトルだけで内容が推測できるように」をもっと意識する
- 全部同じ末尾を付けるのであれば、削除した方が簡潔（例：～系、～関係）
- 全部のラベルを見渡して、情報の分類基準を感じられる（統一感がある）方が望ましい
- 必要に応じて補足説明を加えることも効果的

レポートフィードバック (7/13)

ラベルを補足で補った例

- 情報処理（情報の取り扱い・管理の仕方、またその情報を利益につなげることを学ぶ）
- 情報デザイン（情報を目に見える形にすることを学ぶ）
- コンピュータ関連知識（CD コースにとっての一般教養）

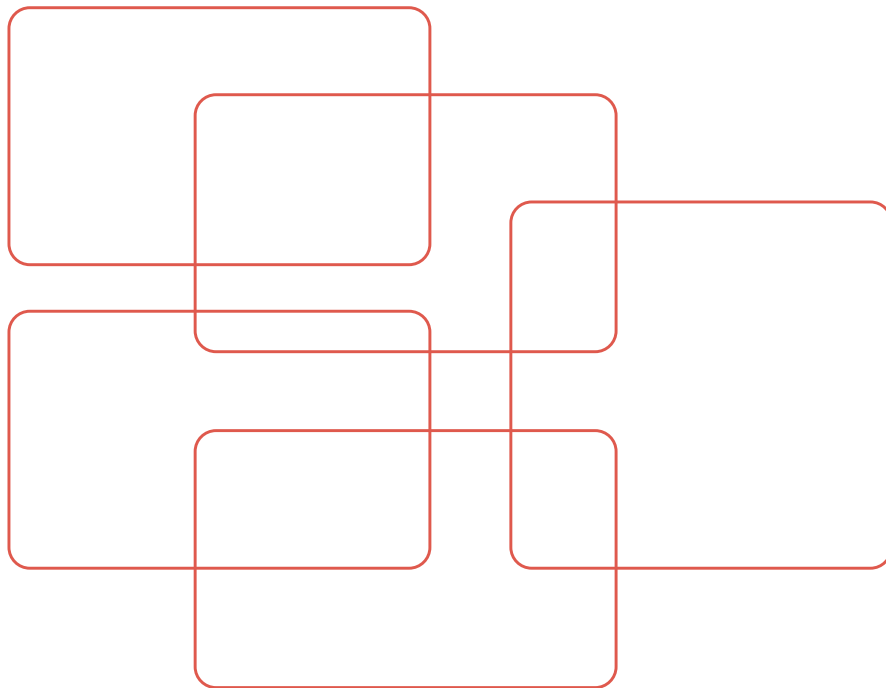
レポートフィードバック (8/13)

視覚化についての誤解（グルーピングとマッピング）

- 包含関係を把握しにくいのであれば意味がない
- 重複させている部分に意味があるのか
- 配置に意味があるのか

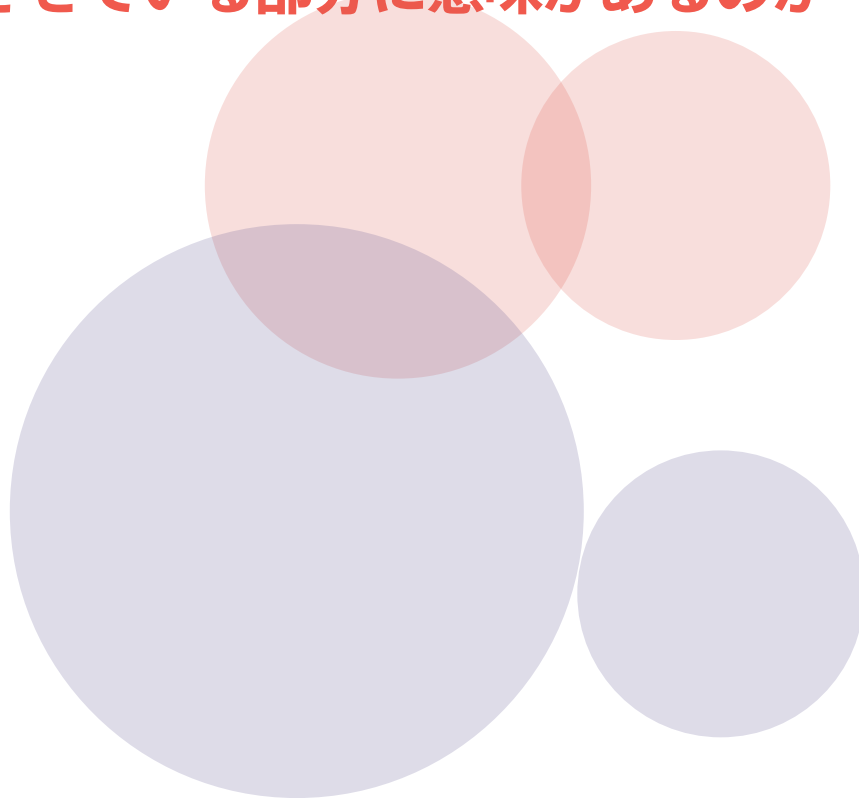
レポートフィードバック (9/13)

包含関係を把握しにくいのであれば意味がない



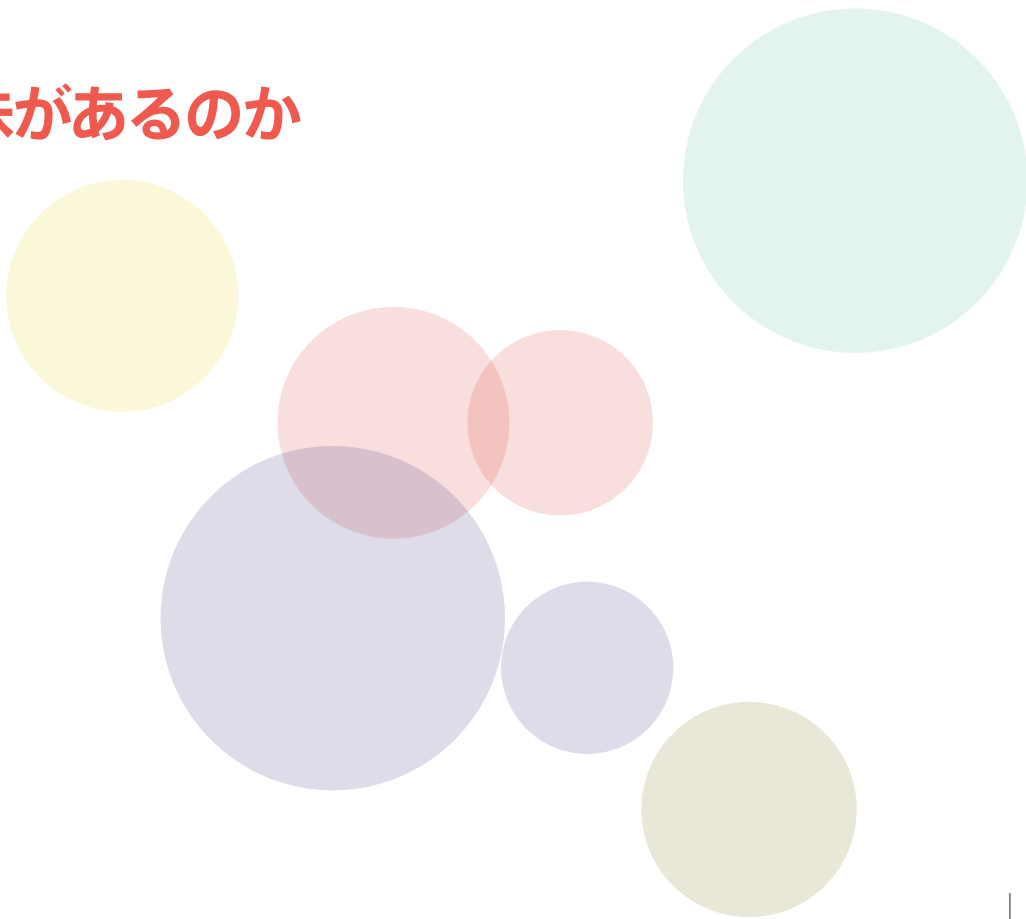
レポートフィードバック (10/13)

重複させている部分に意味があるのか

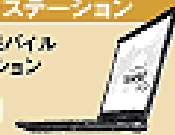


レポートフィードバック (11/13)

配置に意味があるのか

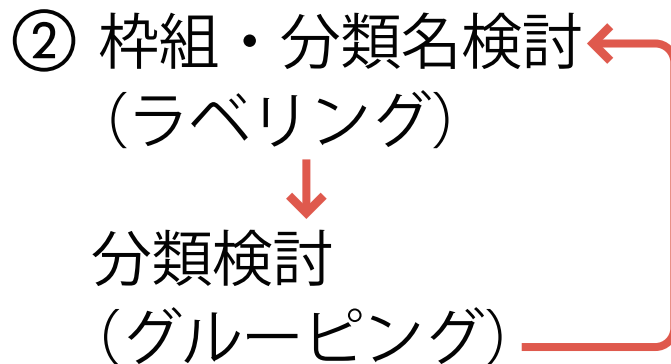
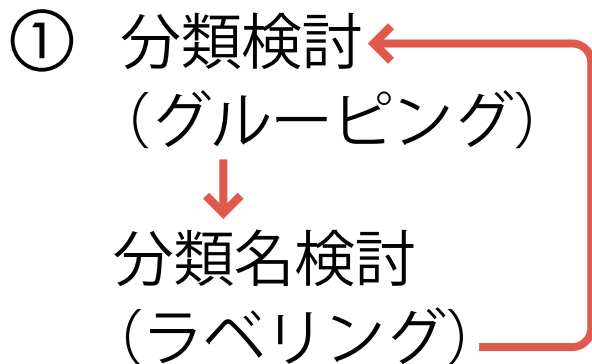


レポートフィードバック (12/13)

価格	B5	A4		
	リアル・モバイル	ワークステーション	オフィス・モバイル	デスクトップ・リプレイス
	タブレット B5 コンパクト・タブレット X41 Tablet 指紋センサー搭載 NEW   B5 コンパクト・モバイル X41 NEW 指紋センサー搭載  B5 パワー・モバイル X40 NEW X32	ワークステーション A4 スリム・モバイル ワークステーション T43p 指紋センサー搭載   A4 ワイド・モバイル Z60t NEW 指紋センサー搭載  A4 スリム・モバイル T43 指紋センサー搭載	 A4 スタンダード (拡張モデル) R52  A4 スタンダード R50e  A4 ワイド・スタンダード Z60m NEW 指紋センサー搭載	 A4 オールインワン・ デスクノート G41
	携帯性			

レポートフィードバック (13/13)

グルーピング・ラベリングの順序は柔軟に



企画構成の概要 [復習]

マニュアル制作における企画構成プロセスとは？

- 説明対象を把握する
- 目的を明確にする
- ターゲットユーザーを決める
- 必要な情報を用意する
- 構成案を作成する

→実際に文章を書く前にこれだけの準備が必要

わかりやすく表現する (1/2)

「わかる」って何だろう？

- 短期記憶→長期記憶に移行できる
- 知ってる→やってる→出来てる→理解してる
- 理解している（他人に説明できる）まで到達させることがベスト
- 目的は「理解」させることなのか？も要検討
→現代社会では複雑なことが多過ぎる

わかりやすく表現する (2/2)

表現にあたって注意すべきこと

- 正しい日本語で
- ユーザーのコンテキスト
→ 前提知識、用語
- 読みやすいように
- 正しく伝わるように（誤解されないように）

ユーザーのコンテキスト (1/2)

わかりやすい表現の大前提

- 前提知識
- 用語
- 言い換えてわかりやすくなる場合と、
そうでない場合がある

ユーザーのコンテキスト (2/2)

「SF」という用語を使用する必然性は？

ご登録いただいた PASMOのSF残額履歴の確認

次の方法で、ご登録いただいたPASMOの
SF残額履歴をご確認いただけます。

SF(ストアードフェア)とは…

PASMOカード内にチャージ(入金)された、運賃に使用できる金額のことです。

読みやすいように

テキスト表現レベルでの注意事項

- 文章の長さ
→ 1 文 45 字以内が適当（と言われている）
- 句読点
→ （心の中で）音読してリズムを確かめる

作業課題 (1/2)

違和感がある箇所をリライトしてみよう

20世紀末に始まったIT革命は、「パソコン」、「インターネット」、「モバイル」、「ユビキタス」と進歩してきました。情報端末がどんどん小型化して、それらがみんなネットワークにつながることで、「いつでもどこでも誰とでも」情報交換ができ、たくさんの情報を蓄積できる記憶装置を持つことで、それらの情報を蓄積し共有できるようになったのです。このようなネットワーク、情報技術の進展を正確に理解し、その知識を活用して人間社会に貢献する。ネットワーク情報学部ではこうした能力をもつ人を育てようとしています。

誤解されないように

必要な要件

- 表現を統一する
- 複数の解釈を許さない
- 知りたい情報を直接伝える

表現を統一する

ユーザーを混乱させない

- 敬体（です・します）や常体（だ・する）
- 用語の使用法

複数の解釈を許さない

どちらにも受け取れる表現をしない

- 指示代名詞の使いかた
- 形容詞や副詞、句読点の使いかた
 - 美しい水車小屋の乙女
 - A または B と C

作業課題 (2/2)

リライトしてみよう

- 設定画面で「★★」を「ON」以外に設定している場合は、★★機能を使用できません

知りたい情報を直接伝える (1/6)

ユーザーがそのまま理解できるように

- 二重否定は避ける
- 「言語明瞭意味不明」を避ける
- 「要するに何なのか」がわかるように

知りたい情報を直接伝える (2/6)

二重否定は避ける

- 「正しく設定しないと、正常に動作しない」
 - 「正しく設定すると、正常に動作する」
 - 「設定を誤ると、正常に動作しない」
- 「○○○を接続しないと、□□できない」
 - 「○○○を接続すると、□□できる」
 - 「□□するには、○○○を接続する必要がある」

知りたい情報を直接伝える (3/6)

「言語明瞭意味不明」を避ける

- いわゆる「お役所的な」言い回しはしない
→ 可及的速やかに前向きに検討し善処致します
- カタカナだらけで煙に巻かない

知りたい情報を直接伝える (4/6)

「要するに何なのか」がわかるように

- 読み手の知りたいことに直接答える
 - 「どう便利なのか」
 - 「何ができるのか（できないのか）」
 - 「自分は何をすれば良いのか」
- ネガティブな印象を避けるために、小手先のごまかしをしない

知りたい情報を直接伝える (5/6)

就職活動にあたって知りたい情報は何だろう？

知りたい情報を直接伝える (6/6)

「自動販売機があります」？

2 ホームウェイ3号/53号
番ホーム

箱根湯本ゆき
片瀬江ノ島ゆき

18:30 発

現在位置

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

ホームウェイ53号 ホームウェイ3号

黄の  が乗車位置です

 自動販売機があります

その他の留意点

一般論として…

- 「事実」と「意見・主張」の分離
 - どこまでが「事実」？
 - 「事実のようで実は意見」ということも多い
- 具体的に書く
 - 読み手に判断材料を与える

次回の予定

テキスト表現 (2)

- 手順情報の書きかた
- UI 設計との関連